



2023年11月1日

3年生、さすがでした

10月17日(火)・18日(水)の両日に文化祭が行われました。展示部門では、3年生の作品の前で、後輩たちが『やっぱり、3年生はすごいね。』と話をしている姿を見ましたし、合唱コンクールでも、3年生の歌声を聞いた1・2年生たちが、『3年みたいに歌えるようになりたい。』と言っている姿が見られました。

特に、みなさんが挑戦した四部合唱バージョンの校歌の後には、『うちの校歌がこんなに格好良くて知らなかった!』『こんなに素晴らしい校歌を歌い継ぎたい!』と、会場にいた1・2年生が口々に言っていた様子が感動的でした。

3年生になって、体育祭と文化祭の2大行事で『さすがは3年生』と言わしめたみなさんの力は、とても大きかったと思います。そして、後輩たちの心に3年生としての理想の姿を印象付けてくれたと思います。では、行事が終わってこれから卒業までの間に、みなさんが後輩たちの心に残せることは何だと思えますか?

それは、受験に向かって真剣に勉強する姿ではないかと思うのですが、いかがですか?

あと79日!

本日、学力診断テストの2回目が終わりました。今後は、今回のテストの結果を受けて2者面談を担当の先生と行い、11月29日から予定されている3者面談で受験校を決定していくことになります。

さて、3年生の掲示板に【あと〇〇日】と学力診断テストと後期中間考査までのカウントダウンを行ってきましたが、学力診断が終わってから、私立専願入試日までのカウントダウンが変わったことに気が付いているでしょうか?なんと、私立高校を専願で受験する人は、あと79日後には入試当日を迎えるのです。その後には、公立高校の特色化選抜入試、私立高校の前期入試、公立高校の推薦入試と次々に入試日を迎えることになります。

以前から伝えていたように、10月と11月のテストの結果を基に受験校は決定します。もうこの時期に、『これから頑張る』は通用しません。自分の現状をしっかりと把握したうえで担任の先生のアドバイスをよく聞いて、保護者の方と受験校について話し合いをしてください。

受験は団体戦

いよいよ受験シーズンに突入しました。志望校が決まったら、合格するための努力をするだけの毎日の始まりです。

後期の始業式で校長先生のお話にもあったように、受験は団体戦に例えられて語られます。受験は本来、自分が志望校に合格するために個人で努力を行うものです。しかし、団体戦と言われるのはなぜでしょう?それは、受験に向かって学年全員の気持ちや雰囲気を『勉強しよう』というものにすることが大事だからです。

そのためには、先ず一人ひとりが学習に向かう態度を創り上げることが肝心です。たとえ受験する学校が違って、『合格する』という同じ目的のために、声を掛け合ったり助け合ったりする優しい気持ちが、みんなの『勉強をしよう!』という気持ちを盛り上げていくのです。

しかし、これまでの2回の学力診断テスト前の学年の様子を見ている限りでは、休み時間に学習している人がいても、教室や廊下で大きな声で話していたりふざけ合ったりしている人の姿があったのが事実です。一日も早く、学年の全員が学習に向かう雰囲気を創り上げてほしいと思います。

高校合格おめでとう!

昨今は、高校の種類が多岐にわたり、それに伴って受験の形態も様々になってきました。そんな中、既に高校を受験した仲間がいることを知っていますか?

みなさんが、まだまだ受験を漠然としか感じていない時期に、既に高校受験のために作文や面接の練習を行って、高校を受験した仲間が学年の中にはいて、先日合格通知を手にしたことを知っていてほしいと思います。また今後も、私立高校の専願試験までの間に、高校を受験する人が学年の中にいるということも知ったうえで、心遣いができるような学年になってほしいと思います。

保護者のみなさまへ

いよいよ受験校を決定する時期が近づいて参りました。

6月の進路学習会では、進路希望調査書には『お子様が希望する学校を書いてください。』と申し上げましたが、そうとばかりは言ってもらえない時期が迫ってきました。現在、子どもたちは担任との二者面談を行う中で、理想と現実のギャップに戸惑い悩んでいる様子が見受けられます。

そこで、進路について担任から受けたアドバイスについて、お子様に確認していただきたいと思えます。その上で、お子様にとって最良の選択肢を保護者の皆様を示していただけると幸いです。